

株式会社バーナードソフト

事業計画名

IoT 対応の大規模ネットワーク監視システム テグノスの改良

MONOHO PROJECT



株式会社バーナードソフトは、札幌発 ITベンチャーの株式会社ソフトフロントから独立したコア技術者が 2014 年に創業。システム開発全般とブロックチェーンに強い同社は、新たな柱となる自社製品を模索。ものづくり補助金活用で開発した独自のネットワーク監視システム「Tegnos (テグノス)」が大手企業導入となり、小さくても求められる企業として成長中だ。

大規模ネットワークの独自監視システムで企業活動と人の暮らしをリアルタイムで守る

独自のリアルタイム監視で問題を正確に突き止める

補助金の事業テーマとなった製品「Tegnos (テグノス)」は、ネットワークの安定運用を守る監視システムだ。既存品との違いは、ログ解析など静的情報ではなくプロトコルレベルの解析を行う点で、画面上に対象ネットワーク上のパケット数や通信量がグラフで表示され、運用状況がリアルタイムで把握できる。もう一つの特徴は、データ蓄積による詳細な情報が得られる点だ。実は同製品の原型は、大規模ネットワークのトラブルシューティングのために生まれた。これが複数メーカーのシステムの中からエラーの原因を見つけ出し、顧客である電力会社に高く評価された。その後、スマートメーターを含む一連のネットワーク通信の監視という依頼に応えるかたちで、「Tegnos」は IoT 対応機能を装備した。

大容量サーバー導入で新たなフェーズへ進化

「Tegnos」の強みは、インターネットで利用する通信プロトコルを解析し、大規模ネットワークに対応できる点にあり、これは同社の得意分野を十分活かしている。しかし、実際の採用に至るハードルは技術面ではなく環境面にあった。同社ではかねて、システムの大規模な検証を自社で行えない課題を抱えていた。通信や電力といった大手顧客にシステムを納入する際の検査では、サーバースペックも含め実装に準じた環境が求められる。そこで新たにサーバー 2 台を購入して検査を行い、「Tegnos」は無事に顧客へ納入された。同社代表の苺生（うりゅう）淳史氏は「補助金を受けて大容量サーバーに投資できたことで、大手顧客への提案チャンスが生まれました」と語る。

「Tegnos」の採用で製品ターゲットを確信

苺生氏は、同社創業直後に開発したビジネスチャットアプリの経験から、「わかりやすい製品ほど販売にパワーが要る」と痛感していた。しかし「Tegnos」の好評で「不特定のコンシューマーではなく、1 万人のためのものづくり」へとゴールを明確化した。その結果、現在は電話通信技術を活かした「音の監視システム」の開発に取り組んでいる。音は映像より検知情報を多く含んでおり、暗い場所やカメラを設置できない場所でも機能する。IoT や AI と組み合わせれば、可能性はさらに広がる。現場の問題解決から生まれたシステム「Tegnos」は、「SAPPORO ベンチャーグランプリ 2016」大賞を受賞した。その成果と道のりには、小さく強いものづくり企業へのヒントが詰まっている。



代表取締役 苺生 淳史 氏

Interview
我が社の強み

専門家集団の
経験知を活かし
自社製品を開発

「地味にしぶとくやっていこう」

「起業 4 年で平均年齢は 45 歳」というと驚かれるのですが、実は以前、私たちは上場 VoIP ベンチャーの開発拠点の社員で、同社が東京へ集約する際に独立しました。皆、子育て世代で、20 年暮らした札幌を今更離れたくないという切実な気持ちもありました。そこで、前職で開発部長だった私からメンバーに、「皆さんは凄いが、一人一人ではイワシです。弱くても固まっていれば十分戦えます」と話したのです。長い付き合いで、誰が何を得意かは互いに知り抜いている。今からバラバラになって知らない場所で評価されるより強いと考え、社員一人一人を大事にする会社にしようと考えました。社名もその決意を込めて、コミュニケーション、貢献意欲、共通目的があれば組織は持続するという「組織の 3 要素」を提唱した経営学者チェスター・バーナードの名にちなんでいます。

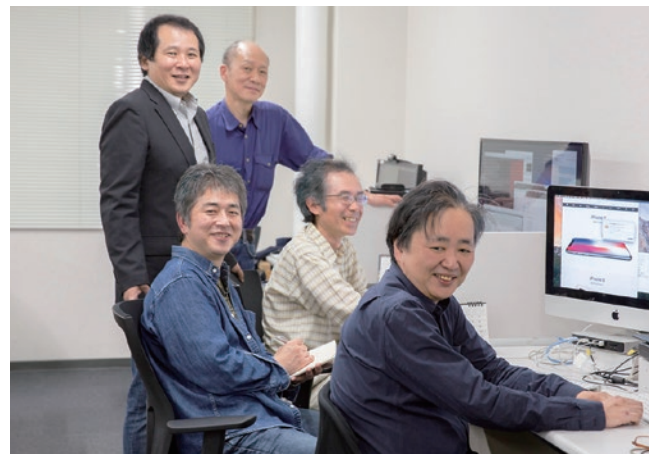
コア技術者が自ら営業する強み

こうした起業経緯から、弊社には私と総務以外の全員が SE で、営業担当部署がありません。一案件を終始一人のエンジニアが担当し、ご要望に対してその場で具体的提案を行うので打ち合わせの内容が濃い。これはお客様にも弊社にもメリットです。しかもうちのエンジニアは、大工さんに例えるなら宮大工になりたいタイプです。宮大工の仕事を求めるお客様は少なくとも必ず存在し、技術がある限り必要とされます。その上、経験豊富ですから仕事の配分が上手で、土日はしっかり休み、納期も守れる。そうした姿勢、つまり自分がつくる

ものを責任を持ってお客様に届けられる、技術とプライドのある職人集団であることが弊社の個性だと思います。

ネットワーク監視システムの磨き上げ

現在は受託開発と製品開発の 2 つを並行して行い、将来的には製品開発を事業の柱にすることを目指しています。資金面ではまだ製品開発に専念できる状況ではないのですが、社員持ち株 100% でスタートアップしましたので、そこを崩さずに得意分野を鍛えられればと考えています。社会の表舞台で輝いているネットワークサービスは多いですが、エンジニアとしてそういう華やかな世界に寄っていくよりも、裏方の仕事でキラリと光りたい。弊社にはそんな町工場的な気質があるようです。今後は「ネットワーク監視ならバーナードソフト」という存在になれるよう、ぶれずに進んでいきます。



▲ 一人一人の技術と経験を集めた職人集団だ

Vision

次世代へのバトンタッチも見据えています

起業して去年までの 3 年間は、会社の生き残りに必死でした。これからの 3 年は、人材増強がテーマです。今年 4 月に初めて 2 名を採用し、次は技術系大学の新卒など 3 名を採用予定です。社員数 30 名程度にして次世代に引き継げたら理想でしょうね。その先の 3 年は、次の経営者を育てる時間にしたいと考えています。若い方には、「派手さはないが手堅くて、定時に帰る人が多い」というのがアピールポイントです (笑)。仕事でもそのほかのことでも、チャレンジしたいことがある人が来てくれたら、私たちがしっかり支えますよ。

Company Data

株式会社バーナードソフト

☎ 011-776-6738

🌐 <https://www.barnardsoft.co.jp>

●所在地 / 〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 2 丁目 6 番地 37 山京ビル 2 階 ●FAX. / 011-776-6738 ●設立 / 2014 年 6 月 1 日 ●代表者 / 代表取締役 苺生 淳史 ●資本金 / 1,200 万円 ●事業内容 / システム開発 (サーバー構築、仮想化基盤構築、システム運用監視支援システム、アプリケーション、大規模 web システム、UI デザイン等) ブロックチェーン技術開発・コンサルティング、自社製品開発販売 (リアルタイムネットワーク監視システム「Tegnos」、ビジネスチャット「Bine」)、研究開発・技術調査